

パーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及び

パーフルオロオクタン酸(PFOA) 試験

国内外にて使用の制限や規制のあるパーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びパーフルオロオクタン酸(PFOA)の分析試験を実施しております。PFOSは2010年(H22)4月1日に化審法の第1種特定化学物質に追加されています。

測定対象, 検体必要量, 定量下限等

測定対象		検体必要量	定量下限等 ^{注3}
水質		3 L ^{注1}	0.3 ng/L
製品	単一物質, 調剤	10 g ^{注2}	0.0005 %
	半製品, 製品		0.01 %
	織物, 表面処理剤などをコーティングした製品		0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^2$
食品		100 g	0.5 ng/g

注1 検体を入れる容器として、フッ素系樹脂製のご使用は避けてください。

注2 粉砕等の調製が必要な場合は10 g以上必要な場合がございます。お問い合わせ下さい。

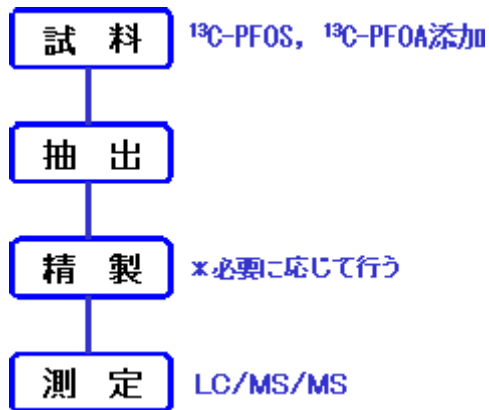
注3 製品についてはEU基準の1/10を設定しております。

定量下限を更に低くご希望の場合、別途ご相談下さい(一部追加料金になります)。

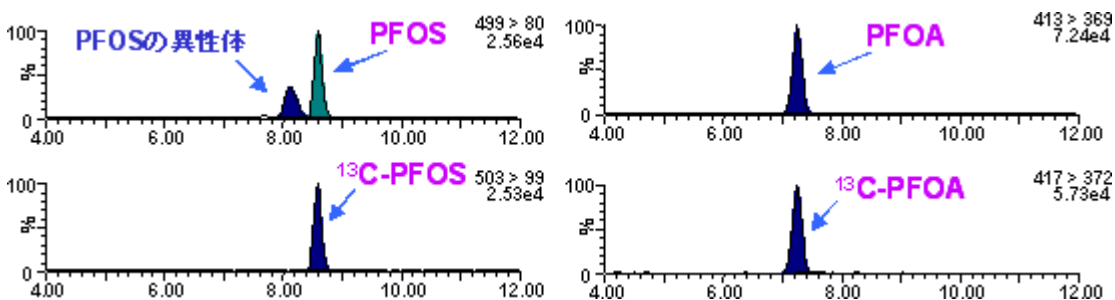
なお、分析困難な検体の場合、定量下限が高くなる事があります。また、検体によっては対応できないものもございますのでご了承下さい。

測定方法

試料に内標準物質を添加し、分析対象に適した抽出方法により PFOS, PFOA を抽出した後、LC/MS/MS (高速液体クロマトグラフ-タンデム型質量分析装置) にて測定を行います。



分析フロー(概略)



PFOS, PFOA のクロマトグラム例

内標準物質等を用いた分析精度の確認、複数モニターイオンを用いた定性確認、高性能 LC/MS/MS を用いた高感度分析をはじめ様々な手法で PFOS, PFOA 分析の品質向上に努めております。